



【アービタックス+パクリタキセル療法について】



様

コース目

☺ **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
			ボラミン	過敏症を抑えるお薬です	30分																											
ファモチジン注																																
デキサート注	抗がん剤です	1時間																														
アービタックス注																																
パクリタキセル注	抗がん剤です	1時間																														

☺ デキサート注には、吐き気止めとしての作用もあります。

*前立腺肥大症や閉塞隅角緑内障のある方はお知らせください。

☺ **治療による副作用** : 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目		
自覚症状	過敏症	 							 							 																
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																														
	食欲不振・吐き気	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 		
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																														
	筋肉痛・関節痛	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 		
		肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																														
	口内炎	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 		
	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																															
手足のしびれ	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 			
	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																															
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 			
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																															
皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 			
	にきびのような発疹ができたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。																															
検査値	白血球減少	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 			
		感染しやすくなりますので、手洗いうがい心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																														
	赤血球減少(貧血)	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 		
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																														
血小板減少	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 			
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																															
肝機能低下	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 	 			
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																															

☺ *注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
 *上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
 *それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
 *何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。